

たしかな経営のあかし

福岡中央銀行

ミニディスクロージャー誌
第97期 営業の中間ご報告
(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

2017年

平成29年9月期版



©Papriko, Ink.

MUSBO

も く じ

ごあいさつ 当行の概要	P 1
経営方針・中期経営計画	P 2
Q & A（当行をより深く知っていただくために）	
Q 平成29年9月期の業績はどうだったの？	P 3
Q 損益の状況は？	P 5
Q 自己資本比率はどのくらいなの？	P 6
Q 不良債権の状況は？	P 7
Q 中間財務諸表は？	P 9
Q 金融円滑化の取組み状況は？	P 11
Q 金融仲介機能の発揮のためにどのように取組んでいるの？	P 12
Q 中小企業の経営改善のためにどのように取組んでいるの？	P 13
Q 地域の活性化のためにどのように取組んでいるの？	
（本業を通じた地域の活性化）	P 14
（地域の皆さまの豊かなくらしのお手伝い）	P 15
Q 社会貢献にはどのように取組んでいるの？	P 16
Q 金融犯罪防止への取組みは？	P 17
役員・株式のご案内	P 18

当 行 の 概 要

創 立	昭和26年6月
商 号	株式会社福岡中央銀行 (THE FUKUOKA CHUO BANK, LTD.)
本店所在地	福岡市中央区大名二丁目12番1号
資 本 金	25億円
預 金	4,808億円（譲渡性預金を含む）
貸 出 金	3,657億円
従 業 員	528名（男性344名、女性184名）
店 舗 数	41店舗（本支店39・出張所2）
株 式 上 場	福岡証券取引所（昭和43年3月）

（平成29年9月30日現在）



ごあいさつ

皆さま方には、平素より私ども福岡中央銀行を格別にお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。

当行は福岡県内を営業地盤とし、地域社会とともに発展することを経営理念に掲げ、地域金融機関としての使命を果たすとともに、堅実経営のもと着実に業容を拡大してまいりました。

これもひとえに、皆さま方の永年にわたるご支援の賜と心から感謝いたしております。

私ども福岡中央銀行は「この街でぐいっしょに」の精神のもと、地域の皆さまとのふれあいを大切に、さらに、地域になくてはならない銀行をめざして、役職員一同、総力を結集してまいります。

今後とも一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この「ミニディスクロージャー誌・第97期 営業の中間ご報告」が皆さま方に、当行をより深くご理解いただくためのご参考になれば幸いに存じます。

平成29年12月

取締役頭取

古村至朗

経営方針・中期経営計画

【経営方針】

当行は、「福岡県内を営業地盤に中小企業専門金融機関としての使命と役割に徹し、地域社会とともに発展する」ことを経営理念に掲げ、特に、中・小規模の企業・事業所と個人のお客さまを中心に中・小口取引に特化した営業活動を展開しております。

平成27年4月に3年間を計画期間とする「中期経営計画」をスタートさせ、長期ビジョンの実現に向けた取組みを推進しております。この「中期経営計画」では、当行の強みを磨く期間として位置付け、その存在意義をあらためて示すべく、表題を「行動の原点は、中小企業専門金融機関」とし、副題には「これまでも、そしてこれからも、地域になくてはならない福岡中央銀行となるために」を掲げております。また、経営理念でもある「福岡県内を営業地盤に、中小企業専門金融機関としての使命と役割に徹し、地域社会とともに発展する」を長期ビジョンの目指すべき姿とし、具現化するための取組みとして、「地元中小企業への貢献を第一に考動し、地域と共に栄える」、「業務の改革により、生産性を高め、収益力を強化する」、「人の改革と強固なガバナンスにより、活力ある組織作りを行う」の3つの基本方針を定めております。

この「中期経営計画」における諸施策の着実な遂行により、今後とも地域の中小企業及び個人の皆様にとって、なくてはならない「この街でこいっしょに」の地域金融機関を目指し、役職員一致協力して努力してまいります。

【中期経営計画】

〈計画期間〉

平成27年4月から平成30年3月まで

〈基本方針〉

1. 地元中小企業への貢献を第一に考動し、地域と共に栄える
2. 業務の改革により、生産性を高め、収益力を強化する
3. 人の改革と強固なガバナンスにより、活力ある組織作りを行う

〈主要施策〉

1. 中小企業の経営支援強化による融資拡大
2. 事業所取引先と店周エリアを核とした営業基盤の強化
3. 業務の合理化・効率化
4. 法人・個人双方に提案できる総合営業人材の育成
5. 経営管理態勢の充実



福岡中央銀行 本店

Q 平成29年9月期の業績はどうだったの？

A おかげさまで、預金・預り資産ともに残高が増加しております。

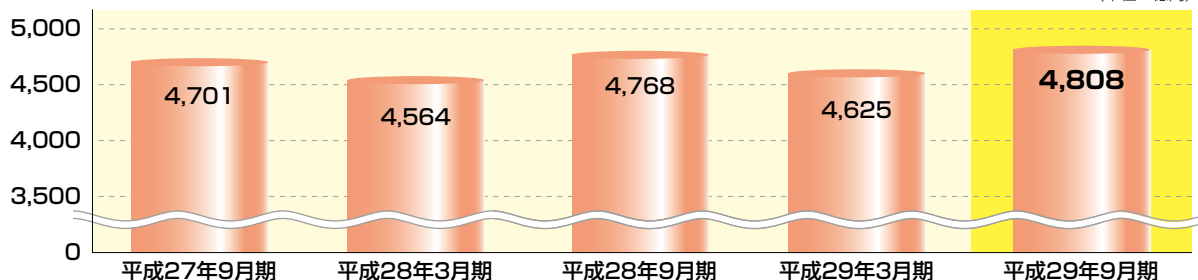
■ 預金

(預金には譲渡性預金を含む)

預金残高は、前年同期比で**40億円増加**して**4,808億円**となりました。

■ 預金残高の推移

(単位：億円)



■ 預かり資産

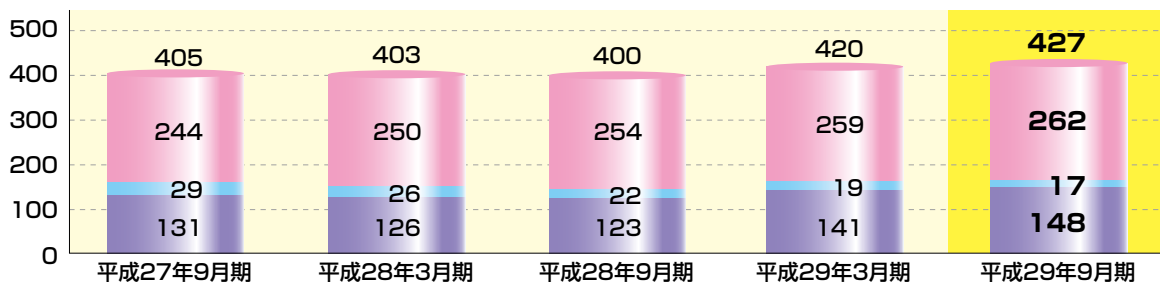
預かり資産残高は、前年同期比で**27億円増加**して**427億円**となりました。

当行では、お客さまの多様化する資産運用ニーズなどにお応えするために、投資信託、公共債、個人年金保険等さまざまな金融商品のご提供を行っております。

■ 預かり資産残高の推移

■投資信託残高 ■公共債残高 ■個人年金保険等残高

(単位：億円)



A 貸出金もお取引先の資金需要にお応えした結果、順調に推移しております。

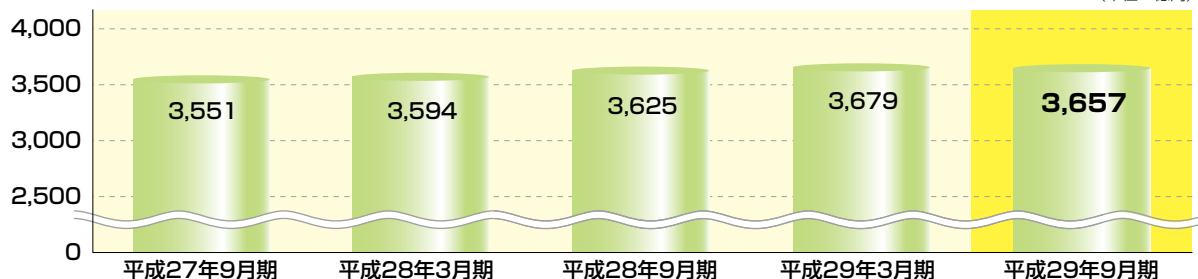
■ 貸出金

(中小企業等向け貸出金には個人向け貸出金を含む)

貸出金残高は、前年同期比で**32億円増加**して**3,657億円**となりました。

■ 貸出金残高の推移

(単位：億円)



当行は“地元に残り、信頼される銀行”を目指して、地域の皆さまの資金需要に対して積極的に取り組んでまいりました。特に、地元中小企業および個人の皆さまの資金需要に最大限お応えした結果、**中小企業等向け貸出金残高**は、前年同期比で**33億円増加**して**3,368億円**となり、**貸出金残高全体に占める比率**は**92.09%**となりました。

今後も引き続き地域金融機関として地域社会の発展に貢献していきたいと考えております。

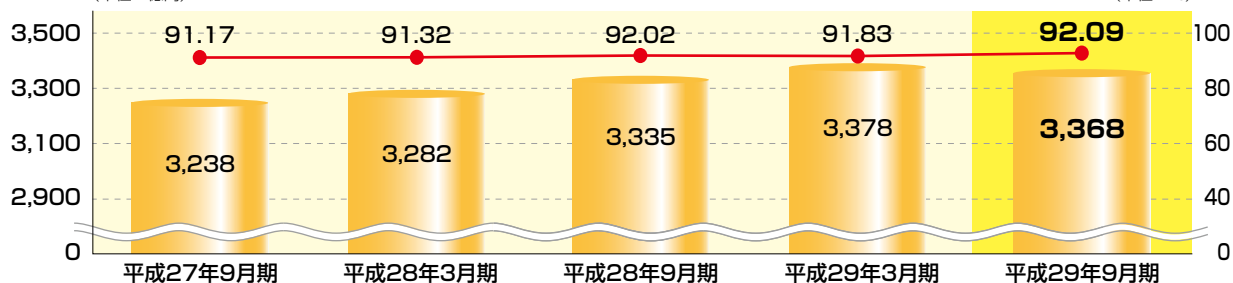
■ 中小企業等向け貸出金残高および比率の推移

■ 中小企業等向け貸出金残高

● 中小企業等向け貸出金残高比率

(単位：億円)

(単位：%)



Q 損益の状況は？

A 堅実経営に徹し、毎期確実に利益を計上しております。

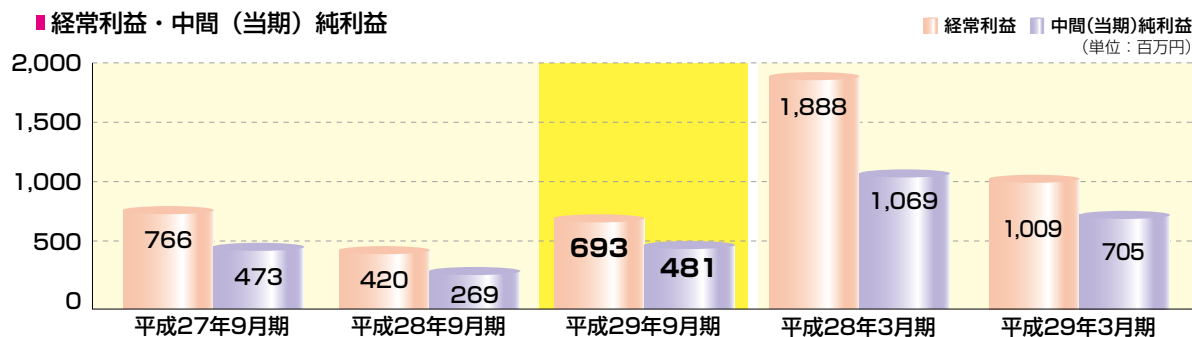
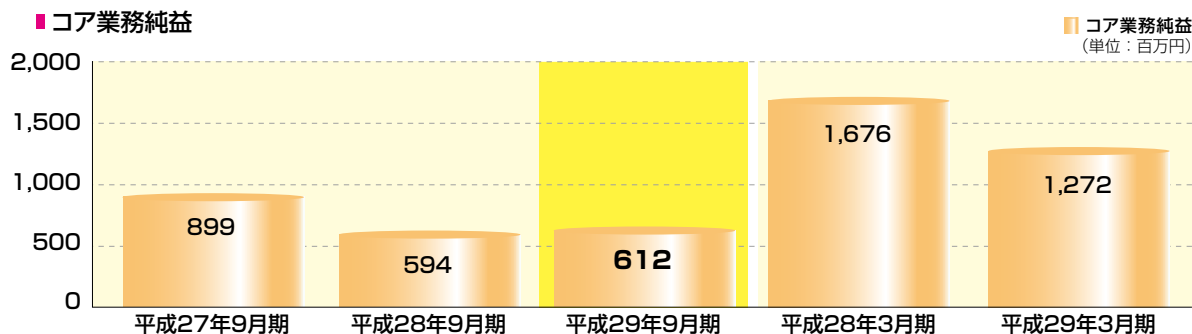
■ 損益状況

コア業務純益は、前年同期比で18百万円増加して6億12百万円となりました。

経常利益は、前年同期比で2億73百万円増加して6億93百万円となりました。

中間純利益は、前年同期比で2億12百万円増加して4億81百万円となりました。

当行は昭和26年創立以来66年間黒字決算を続けております。



用語のご説明

コア業務純益

預金や貸出金、為替業務などであげた利益(業務純益)から一時的な変動要因を除いた、銀行の本来業務での利益です。

経常利益

銀行が本業を含めて普段行っている継続的な活動から得られる利益です。

中間（当期）純利益

経常利益に特別損益と税金等を加減算した最終的な利益です。

Q 自己資本比率はどのくらいなの？

A 国内基準4%を大きく上回る7.75%です。

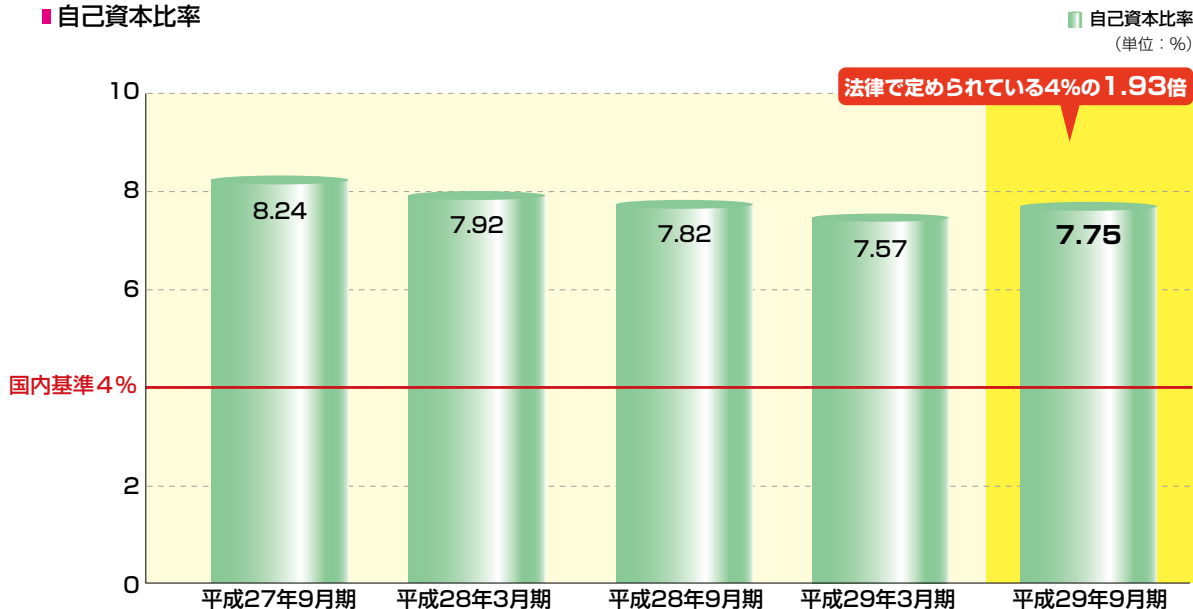
■ 自己資本比率

銀行の安全性・健全性を示す最も代表的な指標が自己資本比率です。
自己資本比率は国内のみで営業している銀行の場合、国内基準である4%以上の確保が求められております。

平成29年9月期においては、新しい自己資本比率規制（バーゼルⅢ基準）の段階適用による影響や、貸出金が増加したことに伴うリスク・アセットの増加により前年同期比0.07ポイント低下し7.75%となりましたが、当行の**自己資本比率は国内基準4%を大きく上回っており、高い安全性を維持**しております。

今後も収益力を高め内部留保を積み上げることで、自己資本の充実を図ってまいります。

■ 自己資本比率



用語の ご説明

自己資本比率

信用リスク・アセット（総資産のうち、貸し倒れの可能性がある資産）等に対して資本金などの自己資本がどれくらいあるかを示す指標です。

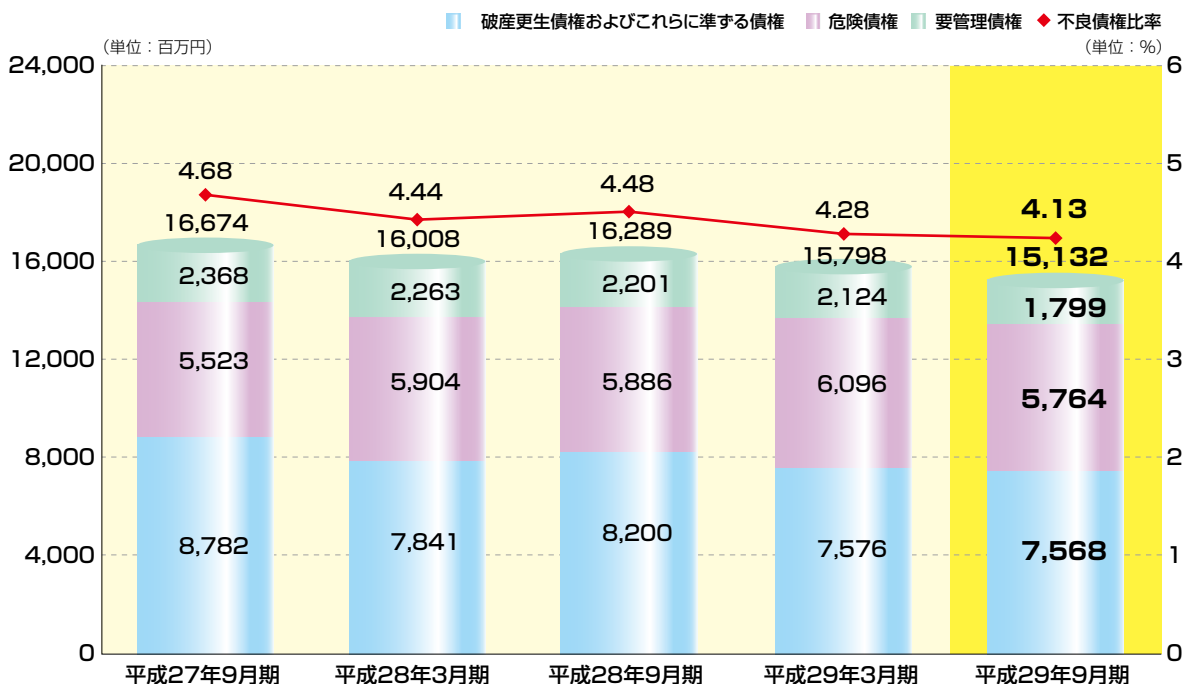
Q 不良債権の状況は？

A 厳格な資産査定と適切な保全・引当で、資産の健全性維持に努めております。

不良債権

平成29年9月期の金融再生法開示基準による当行の**不良債権額**は**151億32百万円**、**不良債権比率**は**4.13%**となりました。

金融再生法開示基準による不良債権額および不良債権比率の推移



【金融再生法開示債権の定義】

用語のご説明

破産更生債権およびこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権。

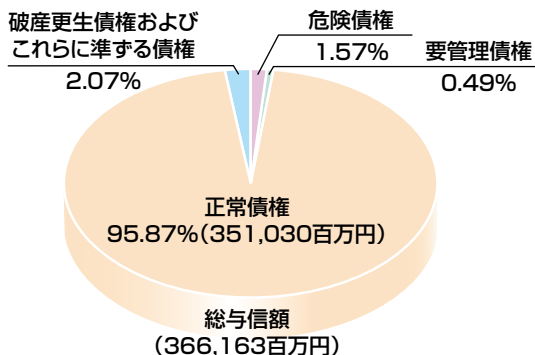
要管理債権

3ヵ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権。

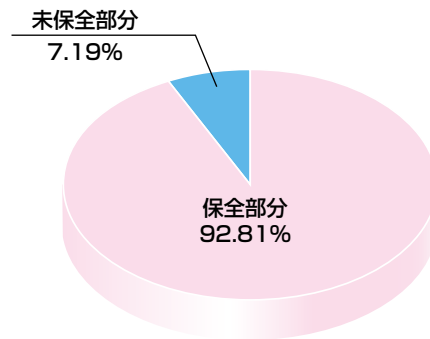
当行は、堅実経営をモットーに信用リスクの管理強化に努め、また「金融検査マニュアル」で示された、資産査定、引当基準の考え方を踏まえ、自己責任に基づき、かつ外部監査人との合意のもと、十分な貸倒引当金の繰入を実施しております。不良債権に対しての担保や貸倒引当金による**保全率**は**92.81%**で、残りの部分に対しても自己資本での対応が十分可能です。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査、リスク管理を徹底しながら、資産の健全性維持に努めてまいります。

■ 金融再生法開示債権の状況(平成29年9月期)



■ 金融再生法開示債権の保全状況(平成29年9月期)



■ 金融再生法開示債権の保全内訳 (平成29年9月期)

(単位：百万円)

平成29年9月30日	破産更生債権およびこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
開示債権額 (A)	7,568	5,764	1,799	15,132
対象債権に対する貸倒引当金 (B)	1,658	865	27	2,551
担保・保証等による保全額 (C)	5,910	4,527	1,056	11,494
保全額 (D=B+C)	7,568	5,393	1,083	14,045
開示額に対する保全率 (D÷A)	100.00%	93.56%	60.20%	92.81%



中間財務諸表は？



おかげさまで当行は昭和26年創立以来66年間黒字決算を続けております。

● 中間貸借対照表

(平成29年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目				金 額
資 産	の	部	金	
現 有 金 預 け	金 預 け	部 金	59,869	
有 価 証 証	有 価 証	部 金	94,629	
貸 出 金	貸 出 金	部 金	365,757	
外 国 為 替	外 国 為 替	部 金	130	
そ の 他 の 資 産	そ の 他 の 資 産	部 金	3,719	
有 形 固 定 資 産	有 形 固 定 資 産	部 金	3,719	
無 形 固 定 資 産	無 形 固 定 資 産	部 金	13,532	
前 払 金	前 払 金	部 金	184	
支 払 金	支 払 金	部 金	1,469	
貸 倒 引 当 金	貸 倒 引 当 金	部 金	184	
資 産 の 部 合 計	資 産 の 部 合 計	部 金	△ 3,979	
負 債	の	部	金	535,499
預 借 金	預 借 金	部 金	469,476	
債 券 貸 借 取 引 受 入 担 保	債 券 貸 借 取 引 受 入 担 保	部 金	11,323	
そ の 他 の 法 人 負 税 等	そ の 他 の 法 人 負 税 等	部 金	21,061	
未 払 一 人 債 務	未 払 一 人 債 務	部 金	1,820	
資 産 の 除 去 の 負 債	資 産 の 除 去 の 負 債	部 金	91	
そ の 他 の 負 債	そ の 他 の 負 債	部 金	34	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	部 金	10	
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	部 金	1,685	
繰 上 延 税 金 負 債	繰 上 延 税 金 負 債	部 金	163	
再 評 価 に 係 る 繰 上 延 税 金 負 債	再 評 価 に 係 る 繰 上 延 税 金 負 債	部 金	134	
支 払 金 の 部 合 計	支 払 金 の 部 合 計	部 金	963	
純 資 産	純 資 産	部 金	1,878	
資 本 本 剰 余 金	資 本 本 剰 余 金	部 金	184	
資 本 本 剰 余 金	資 本 本 剰 余 金	部 金	507,008	
利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	部 金	2,500	
利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金	部 金	1,203	
そ の 他 の 利 益 剰 余 金	そ の 他 の 利 益 剰 余 金	部 金	1,203	
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	部 金	16,783	
別 途 利 益 剰 余 金	別 途 利 益 剰 余 金	部 金	1,396	
繰 上 延 税 金 負 債 剰 余 金	繰 上 延 税 金 負 債 剰 余 金	部 金	15,386	
自 己 株 式	自 己 株 式	部 金	530	
株 主 資 本 合 計	株 主 資 本 合 計	部 金	14,125	
そ の 他 の 有 価 証 券 評 価 差 額 金	そ の 他 の 有 価 証 券 評 価 差 額 金	部 金	731	
土 地 再 評 価 差 額 金	土 地 再 評 価 差 額 金	部 金	△ 123	
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	部 金	20,363	
純 資 産 の 部 合 計	純 資 産 の 部 合 計	部 金	3,873	
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	部 金	4,253	
		部 金	8,127	
		部 金	28,490	
		部 金	535,499	

● 中間損益計算書

(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目				金 額
経 常 収 益	経 常 収 益	4,818		
資 金 運 用 収 益	資 金 運 用 収 益	4,083		
(うち貸出金利息)	(うち貸出金利息)	3,486		
(うち有価証券利息配当金)	(うち有価証券利息配当金)	584		
役 務 取 引 等 収 益	役 務 取 引 等 収 益	506		
そ の 他 業 務 収 益	そ の 他 業 務 収 益	2		
そ の 他 経 常 収 益	そ の 他 経 常 収 益	226		
経 常 費 用	経 常 費 用	4,125		
資 金 調 達 費 用	資 金 調 達 費 用	169		
(うち預金利息)	(うち預金利息)	167		
役 務 取 引 等 費 用	役 務 取 引 等 費 用	527		
営 業 経 費	営 業 経 費	3,252		
そ の 他 経 常 費 用	そ の 他 経 常 費 用	175		
経 常 利 益	経 常 利 益	693		
特 別 損 失	特 別 損 失	10		
固 定 資 産 処 分 損	固 定 資 産 処 分 損	1		
減 損 損 失	減 損 損 失	8		
税 引 前 中 間 純 利 益	税 引 前 中 間 純 利 益	682		
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	92		
法 人 税 等 調 整 額	法 人 税 等 調 整 額	108		
法 人 税 等 合 計	法 人 税 等 合 計	201		
中 間 純 利 益	中 間 純 利 益	481		

● 中間株主資本等変動計算書

(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利 益 剰 余 金					自己株式	
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計		
				固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金			
当 期 首 残 高	2,500	1,203	1,396	532	13,525	915	16,369	△ 123	19,949
当 中 間 期 変 動 額									
剰 余 金 の 配 当						△ 67	△ 67		△ 67
中 間 純 利 益						481	481		481
自 己 株 式 の 取 得								△ 0	△ 0
固定資産圧縮積立金の取崩				△ 2		2	－		－
別 途 積 立 金 の 積 立					600	△ 600	－		－
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）									
当中間期変動額合計	－	－	－	△ 2	600	△ 184	413	△ 0	413
当 中 間 期 末 残 高	2,500	1,203	1,396	530	14,125	731	16,783	△ 123	20,363

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
当 期 首 残 高	3,816	4,253	8,069	28,019
当 中 間 期 変 動 額				
剰 余 金 の 配 当				△ 67
中 間 純 利 益				481
自 己 株 式 の 取 得				△ 0
固定資産圧縮積立金の取崩				－
別 途 積 立 金 の 積 立				－
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	57	－	57	57
当中間期変動額合計	57	－	57	471
当 中 間 期 末 残 高	3,873	4,253	8,127	28,490

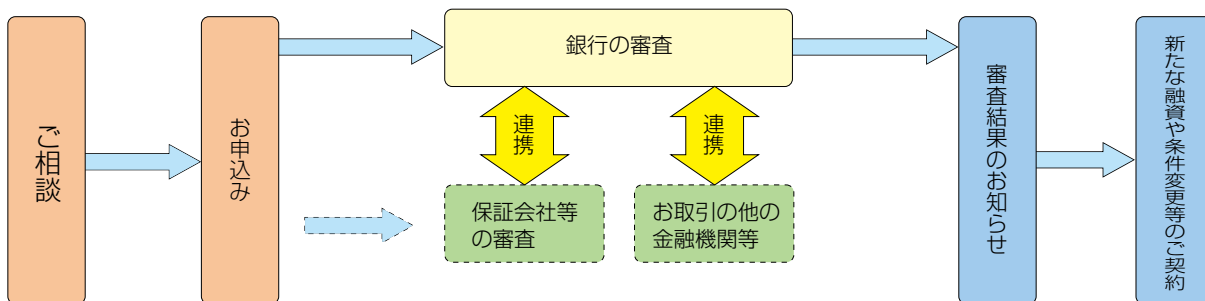
Q 金融円滑化の取組み状況は？

A 地域の中小企業や個人事業主の皆さまおよび住宅ローンをご利用のお客さまを最大限サポートする方針や体制を整備し、金融円滑化への取組みを強化しております。

当行は、お客さまからの新たな融資のご相談や貸付条件変更等のご要望・ご相談に、迅速かつ適切に対応するための体制を敷いております。

体制整備の概要

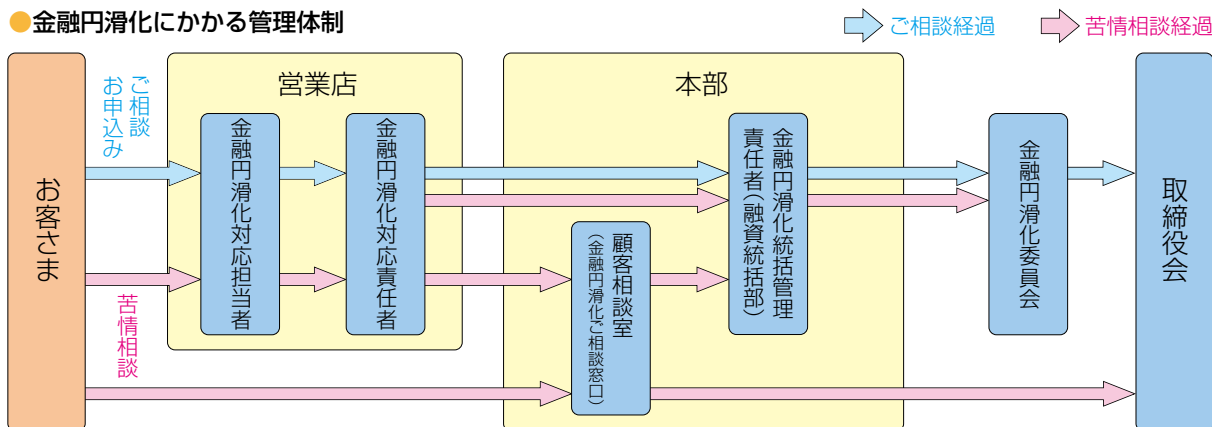
●新たな融資や条件変更等のお取扱い手順



※ご相談やお申込みは営業店の金融円滑化ご相談窓口および本店営業部の住宅ローン窓口でお受けします。

※ご相談やお申込みに関する苦情・ご相談は営業店の金融円滑化ご相談窓口または本部内の顧客相談室にお申し付けください。

●金融円滑化にかかる管理体制



●お問合せ先 お取引店もしくは

顧客相談室「金融円滑化苦情相談窓口」フリーダイヤル 0120-198-500

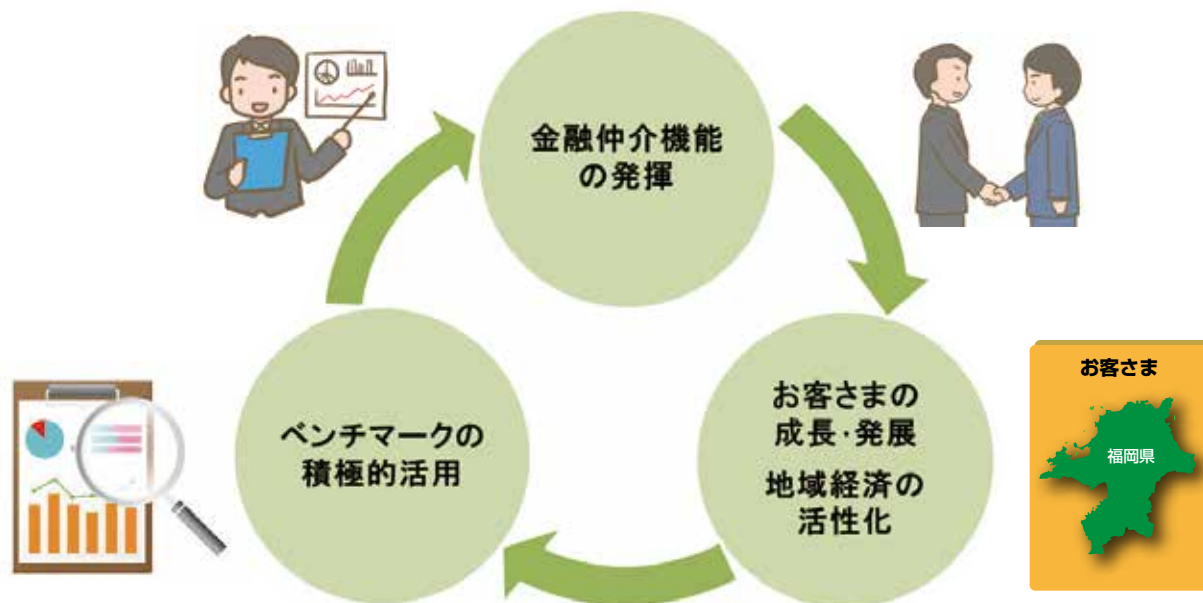
(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時 銀行休業日を除きます)

Q 金融仲介機能の発揮のためにどのように取組んでいるの？

A 金融仲介機能のベンチマークを積極的に活用し、中小企業や個人事業主のお客さまの成長・発展、地域経済の活性化に貢献しております。

当行では、平成28年9月に金融庁から公表された「金融仲介機能のベンチマーク」を積極的に活用し、中小企業や個人事業主のお客さまのニーズや経営課題に対応した適切な解決策をご提案することにより、地域金融機関としての金融仲介機能を十分発揮し、お客さまの成長・発展、地域経済の活性化に貢献しております。

当行の取組み方針について

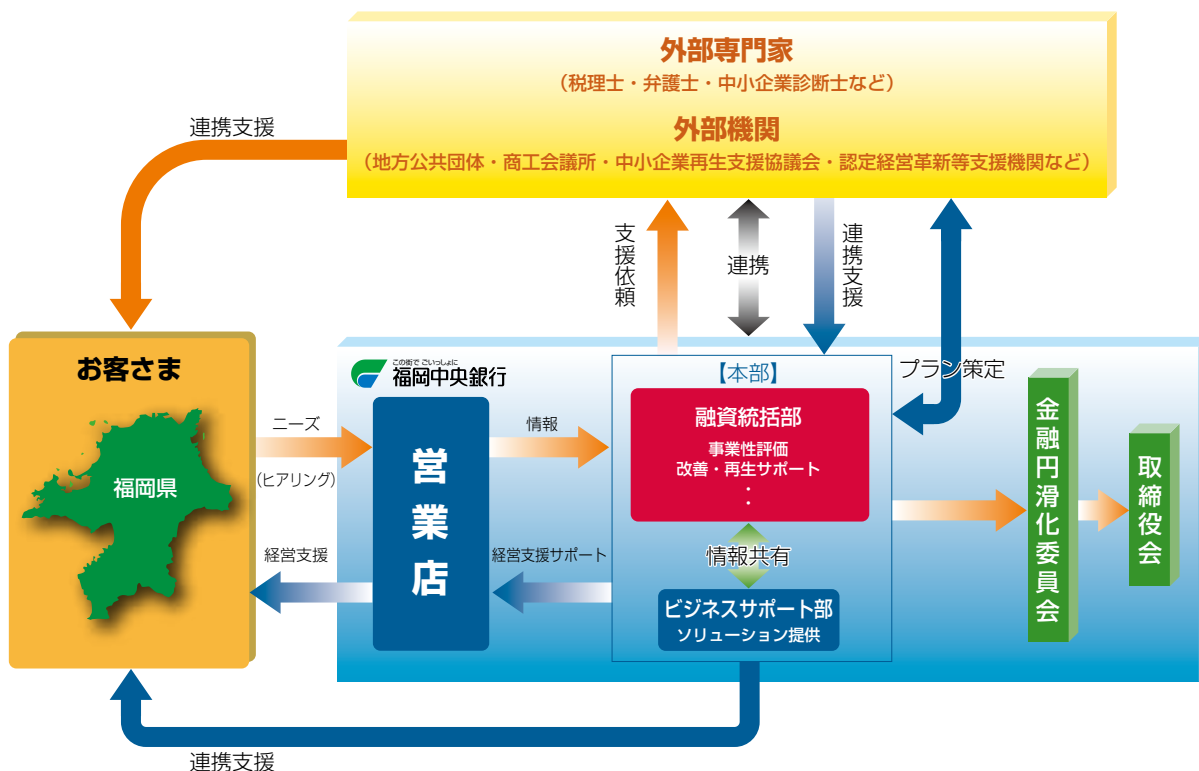


Q 中小企業の経営改善のためにどのように取組んでいるの？

A 方針や態勢を整備・強化して、中小企業の経営を最大限サポートしております。

当行はかねてより、地域の中小企業や個人事業主のお客さまに対して経営支援に積極的に取組んでまいりましたが、さらにお客さまを最大限サポートする態勢を強化するとともに、方針および態勢を整備し、中小企業経営支援に取り組んでおります。平成28年4月に融資統括部内に「事業性評価室」を新設し、お客さまの事業内容や成長可能性を適切に評価するとともに本部・営業店が一体となり、外部専門家や外部機関とも連携を図りながら、お客さまへのコンサルティング機能を発揮すべく態勢整備の充実を図っております。

中小企業の経営支援体制整備の概要



Q 地域の活性化のためにどのように取組んでいるの？

(本業を通じた地域の活性化)

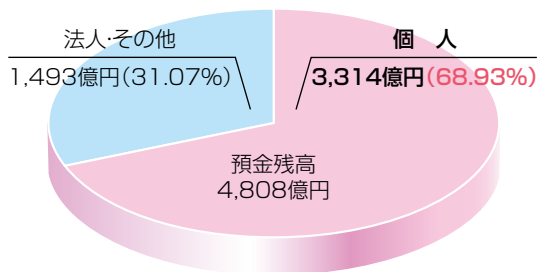
A 預金は個人のお客さま、
貸出金は地元中小企業等向けが中心です。

(平成29年9月30日現在)

1 個人預金残高の比率

個人預金残高は3,314億円であり、預金残高全体に占める比率は**68.93%**となっております。

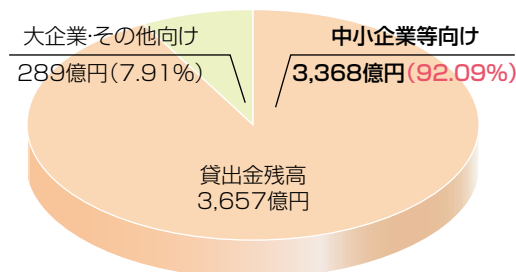
■個人預金残高の比率(譲渡性預金を含む)



2 中小企業等向け貸出金残高の比率

中小企業等向け貸出金残高は3,368億円であり、貸出金残高全体に占める比率は**92.09%**となっております。

■中小企業等向け貸出金残高の比率
(個人向け貸出金含む)



A 地域の活性化につながる多様なサービスをご提供しております。

1 「講演会」「交歓会」の開催による地域の皆さまへの経済活動の促進と交流に貢献

毎年1月には著名人、有識者をお招きし、政治・経済・社会等の幅広いテーマで講演会を行っております。また、地域の企業や個人の皆さまの交流に貢献するために交歓会も開催しております。

2 「次世代育成支援型住宅ローン」の取扱い

新婚家庭および子どもを育てる家庭向けに金利負担を軽減した住宅ローン「次世代育成支援型住宅ローン」の取扱いをしております。

また、「エコ住宅ローン」(本誌16ページに記載)との組合せにより、さらに金利の引下げをいたします。

●「次世代育成支援型住宅ローン」

- 『ようこそ新婚さん』
- 『すこやかファミリー』



●お問合せ先 お近くの窓口もしくは
営業統括部 フリーダイヤル **0120-675-430**
TEL **092-751-4667**

(受付: 月曜日から金曜日 午前9時~午後5時 銀行休業日を除きます)

Q 地域の活性化のためにどのように取組んでいるの？（地域の皆さまの豊かなくらしのお手伝い）

A 創業支援や中小企業の経営支援を行っております。

1 創業支援

外部機関や外部専門家と連携し、創業前の準備段階から創業時の資金調達、創業後のフォローまで一貫して行っております。

●『スタートアップ支援のご案内』



以下が主なサポート内容となっております。

1. 創業資金支援
2. 事業計画策定支援
3. 創業者へのセミナー・個別相談会開催
4. 創業後のフォローアップ体制

●『創業応援セミナー』の開催

創業を予定している方を対象に、創業に必要な基礎知識の習得や資金調達方法についてのセミナーを開催しております。



●お問合せ先 お近くの窓口もしくは
ビジネスサポート部 TEL 092-751-4532
(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時 銀行休業日を除きます)

2 「MUSBO元気塾」「経営者育成塾」による次世代経営者の育成支援

次世代経営者や事業承継予定者および若手経営者を対象に講演会や勉強会、懇親会を開催し、経営者の育成支援や企業間交流、事業発展のお手伝いをしております。

●お問合せ先 ビジネスサポート部



3 「ふくちゅうぎん経営塾21WEB倶楽部」で事業発展のお手伝い

当倶楽部は、経営者・事業後継者および企業経営のノウハウを修得したいと考えている方々に、インターネットを活用して、日常の経営実務に役立ち、ビジネスチャンスに直結する様々な情報をタイムリーにご提供し、事業発展のお手伝いをしております。

●お問合せ先 ビジネスサポート部



Q 社会貢献にはどのように取り組んでいるの？

A 環境問題に配慮するとともに、福祉施設への寄付を行っております。

1 環境配慮型住宅に対する住宅ローンの金利負担を軽減

環境配慮型住宅の新築・購入・増改築および借換をされるお客さまを対象に、当行取扱いの住宅ローンより金利を引き下げる「エコ住宅ローン」の取扱いをしております。

また「次世代育成支援型住宅ローン」（本誌14ページに掲載）との組合せにより、さらに金利の引下げをいたします。

- 「エコ住宅ローン」
 - 『オール電化住宅ローン』
 - 『ホットメリット住宅ローン』



- お問合せ先 お近くの窓口もしくは
営業統括部 フリーダイヤル 0120-675-430
TEL 092-751-4667
(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時 銀行休業日を除きます)

2 人や環境に配慮した通帳の取扱い

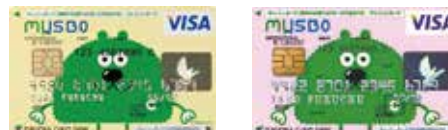
当行のマスコットキャラクターMUSBOとMUSBOフレンズを登場させ、視覚障がいのあるお客さまや高齢のお客さまに配慮したユニバーサルデザイン通帳を採用しております。

また素材は、表紙に紙クロスを採用することでリサイクル適正や廃棄適正を向上させ、植物由来のインキを使用した環境にも配慮した通帳です。



3 クレジット一体型ICキャッシュカード「MUSBOカード」の収益金の一部を寄付

「MUSBOカード」のコンセプトは絆を「結ぼう!」です。そのためお客さまとの結びつきにとどまらず、MUSBOカードを通じて社会貢献に参画し、社会との結びつきを深めたいと思い、カードからの収益金の一部を在宅心身障がい児(者)療育訓練施設「やすらぎ荘」に寄付いたしました。



MUSBOカード

Q 金融犯罪防止への取組みは？

A 安心してお取引いただくために、お客さまに注意喚起を行うとともに、さまざまな対策に取り組んでおります。

1 インターネットバンキングによる不正送金への対応

● セキュリティ強化への取組み

当行は、インターネットバンキングによる不正送金への防止対策として、一度限り有効な「ワンタイムパスワード」を導入するとともに、振込時に電子メールにてお客さまにご連絡する等安全性を高めております。

また、不正送金対策ソフト（Fish Wall）を無料で配布しております。

● 被害にあわないために（お客さまへの注意喚起）

〈お客さまに、講じていただくセキュリティ対策〉

- ① 当行が導入しているセキュリティ対策を実施する（ワンタイムパスワード等）
- ② OSやブラウザ等、インストールされているソフトを最新の状態に更新する
- ③ メーカーのサポート期限が経過したソフトの使用を停止する
- ④ セキュリティ対策ソフトを導入するとともに、最新の状態へ更新する
- ⑤ パスワード類は厳重に管理し、定期的に変更する

被害にあわれた時のご連絡先

- 月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
お取引店または当行本支店
（電話番号は裏表紙「店舗・ATMのご案内」をご覧ください）
- 銀行休業日および上記以外の時間帯
福岡中央銀行CD監視センター
TEL 092-751-5036

2 ニセ電話詐欺への対応 （振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺）

● 被害防止のための声掛け、心配り

窓口で振込依頼を受付した際などに、お客さまへニセ電話詐欺被害防止のための声掛け、心配りを徹底しております。また、警察と連携した取組みとして、高額のお金を持ち帰られるお客さまに対しては、アンケートを用いて聞き取りを行うなど、被害発生防止に努めております。

● 被害にあわないために

- 電話、郵便等により高額のお金を預金口座等に「振り込め」というものについては、「**すぐに振り込まない。一人で振り込まない。**」ください。
- 電話を切った後、必ず本人やその家族、勤務先等と連絡を取り、事実を確認しましょう。

万一、被害にあわれたとき

直ちに警察と振込先の金融機関へご連絡し、振り込んだ預金口座の利用停止を求めてください。

被害にあわれ、当行の口座に振り込みをされた方は下記までお申し出ください。

振り込め詐欺救済法による被害金返還請求などに関するお問合せ先

事務部 TEL 092-751-4470

（受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
ただし、銀行休業日を除きます）

3 キャッシュカード・通帳の偽造・盗難への対応

● ATMのセキュリティ強化

ATMの画面に覗き見防止の遮光フィルムを貼付し、後方確認ミラーも設置しております。

またお客さまご自身が、ATMで暗証番号や1日1口座あたりのご利用限度額を変更いただけます。その際、生年月日など類推されやすい暗証番号の登録を制限しております。

● 被害にあわないために

- キャッシュカード、通帳の保管にご注意ください。
- 暗証番号は、他人に類推されやすい番号を避け、定期的に変更されることをお勧めします。

カード・通帳・印鑑等をなくされた時のご連絡先

- 月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
お取引店または当行本支店
（電話番号は裏表紙「店舗・ATMのご案内」をご覧ください）
- 銀行休業日および上記以外の時間帯
福岡中央銀行CD監視センター
TEL 092-751-5036

役員・株式のご案内

● 役員のご案内 ●

(平成29年10月1日現在)

取締役頭取 (代表取締役)	古村至朗
専務取締役 (代表取締役)	乗原学
常務取締役	井桁善廣
常務取締役	布施圭一郎
取締役	石塚昭二
取締役	草場勇次
取締役	山下知成
取締役(非常勤)	倉富純男
取締役(非常勤)	林田スマ (本名 平田スマ)
常任監査役(常勤)	力丸光典
監査役(非常勤)	鎮西正直
監査役(非常勤)	道永幸典
監査役(非常勤)	行正晴實

(注) 取締役倉富純男氏および林田スマ氏は、社外取締役であります。
監査役鎮西正直氏、道永幸典氏および行正晴實氏は、社外監査役であります。

● 株式のご案内 ●

- 1. 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 2. 定時株主総会** 毎年6月
- 3. 基準日**
定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 4. 株主名簿管理人・連絡先**
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
(連絡先) 〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先) 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 5. 公告の方法** 電子公告により当行ホームページに掲載します。
(<http://www.fukuokachuo-bank.co.jp>)
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および福岡市において発行する西日本新聞に掲載します。

【お知らせ】

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等につきましては、証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へ、証券会社をご利用でない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお申出ください。
- ・特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
- ・未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

店舗・ATMのご案内

(平成29年12月1日現在)

店舗一覧

【金融機関コード 0582】 ● 休日稼働時間は土曜日、日曜日、祝日の8:00～20:00です。

店舗コード	店舗名	郵便番号	住 所	電 話 番 号	ATM稼働状況	
					平 日	休日稼働
001	本店営業部	〒810-0041	福岡市中央区大名二丁目12-1	092-751-4433	8:00～21:00	●
002	清川支店	〒810-0005	福岡市中央区清川一丁目12-3	092-521-0531	9:00～18:00	
031	平尾支店	〒810-0014	福岡市中央区平尾二丁目19-22	092-531-4635	8:00～20:00	●
004	博多支店	〒812-0026	福岡市博多区上川端町3-4	092-281-5107	8:00～21:00	●
026	博多駅東支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東一丁目1-25	092-411-7461	8:00～21:00	●
042	筑紫通支店	〒812-0893	福岡市博多区那珂一丁目22-3	092-451-2851	8:00～20:00	●
006	雑餉隈支店	〒812-0878	福岡市博多区竹丘町二丁目1-5	092-581-3731	8:00～20:00	●
005	馬出支店	〒812-0054	福岡市東区馬出二丁目22-21	092-651-6961	8:00～20:00	●
027	香椎支店	〒813-0013	福岡市東区香椎駅前二丁目21-18	092-681-2136	8:00～20:00	●
003	西新支店	〒814-0002	福岡市早良区西新五丁目1-38	092-821-3061	8:00～21:00	●
039	室見駅前出張所	〒814-0015	福岡市早良区室見四丁目24-21	092-851-4344	8:00～20:00	●
032	原支店	〒814-0022	福岡市早良区原六丁目21-31	092-851-6261	8:00～20:00	●
030	長尾支店	〒814-0123	福岡市城南区長尾一丁目17-10	092-861-0211	8:00～20:00	●
033	七隈支店	〒814-0133	福岡市城南区七隈三丁目1-24	092-862-3871	8:00～20:00	●
036	新室見支店	〒819-0025	福岡市西区石丸一丁目14-12	092-882-0711	8:00～20:00	●
016	野間支店	〒815-0041	福岡市南区野間一丁目11-31	092-541-4534	8:00～20:00	●
028	大橋支店	〒815-0033	福岡市南区大橋三丁目27-18	092-541-6365	8:00～20:00	●
037	松原支店	〒811-1355	福岡市南区松原一丁目33-31	092-512-8911	8:00～20:00	●
038	鶴田支店	〒811-1352	福岡市南区鶴田二丁目22-5	092-565-7398	8:00～20:00	●
046	志免支店	〒811-2207	糟屋郡志免町南里四丁目2-4	092-937-1211	8:00～20:00	●
045	前原支店	〒819-1116	糸島市前原中央一丁目5-1	092-324-4371	8:00～20:00	●
029	二日市支店	〒818-0072	筑紫野市二日市中央二丁目9-7	092-922-6731	8:00～20:00	●
034	自由ヶ丘支店	〒811-4163	宗像市大字自由ヶ丘五丁目975-11	0940-33-3321	8:00～20:00	●
035	須玖支店	〒816-0863	春日市須玖南三丁目32-3	092-572-1321	8:00～20:00	●
040	大利支店	〒816-0952	大野城市下大利一丁目1-13	092-581-6051	8:00～20:00	●
041	ひまわり台出張所	〒818-0134	太宰府市大佐野六丁目2-8	092-925-9771	8:00～20:00	●
007	小倉支店	〒803-0812	北九州市小倉北区室町二丁目6-1	093-561-4985	8:00～20:00	●
008	門司支店	〒801-0851	北九州市門司区東本町一丁目2-10	093-321-3861	8:00～20:00	●
009	戸畑支店	〒804-0082	北九州市戸畑区新池二丁目10-11	093-871-4524	9:00～18:00	
011	若松支店	〒808-0034	北九州市若松区本町二丁目2-21	093-761-4723	8:00～20:00	●
025	黒崎支店	〒806-0026	北九州市八幡西区西神原町2-30	093-631-4538	8:00～20:00	●
017	飯橋支店	〒824-0003	行橋市大橋三丁目6-7	0930-23-2381	8:00～20:00	●
013	飯塚支店	〒820-0040	飯塚市吉原町12-1	0948-22-2380	8:00～20:00	●
014	直方支店	〒822-0017	直方市殿町4-1	0949-22-2110	8:00～20:00	●
015	田川支店	〒825-0012	田川市日の出町3-5	0947-42-3111	8:00～20:00	●
020	久留米支店	〒830-0017	久留米市日吉町5-45	0942-33-7391	8:00～20:00	●
043	久留米合川支店	〒839-0809	久留米市東合川二丁目3-7	0942-43-1091	9:00～18:00	
021	大牟田支店	〒836-0842	大牟田市有明町二丁目2-14	0944-52-4246	8:00～20:00	●
022	大川支店	〒831-0016	大川市大字酒見130-1	0944-87-3200	9:00～18:00	
023	八女支店	〒834-0063	八女市本村425-237	0943-23-2181	8:00～20:00	●
024	甘木支店	〒838-0068	朝倉市甘木1840-1	0946-22-3900	8:00～20:00	●

店舗外自動サービスコーナー

● 休日稼働コーナー 8:00～21:00(南片江テングッド片江ビル1階は9:00～17:00、田川市立病院は土曜日のみ稼働9:00～18:00です。)

<福岡市中央区>	●	西鉄福岡駅2階コンコース北側 福岡市鮮魚市場会館1階	<春日市>	春日市役所
<福岡市博多区>	●	地下鉄博多駅筑紫口地下1階コンコース 福岡合同庁舎1階	<筑紫野市>	筑紫野市役所
		千鳥橋病院	<行橋市>	行橋市役所
<福岡市城南区>	●	南片江テングッド片江ビル1階	<田川市>	田川市役所
<糟屋郡志免町>		志免町役場		田川市立病院
<糸島市>		糸島市役所	<直方市>	直方市役所
			<朝倉市>	朝倉市役所

携帯電話・スマートフォンはこちらからアクセス→

パソコンからアクセス (福岡中央銀行) (検索)



この街で ぎいっしょに

福岡中央銀行

平成29年12月発行

福岡中央銀行 総合企画部

〒810-0041 福岡市中央区大名二丁目12番1号

電話 番号 092-751-4431(代)

ホームページ <http://www.fukuokachuo-bank.co.jp>